

教科	科 目	単位数	学年・クラス
国語	論理国語	2	3年1組

1 使用教材

使用教科書	高等学校 標準 論理国語
出版社	第一学習社
副教材等	-
出版社	-

2 学習の目標

1	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
2	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
3	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習態度	B	A	A	授業態度など
課題提出	B	A	A	指示した時期に提出
ノート提出	B	A	A	指示した時期に提出
定期考査	A	B	C	定期テスト、課題テスト

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	理解編Ⅰ 人間と文化 「バラと通貨はどう違う？」 表現編 小論文を書く 理解編Ⅱ 人間と社会 「SNSと意見の分極化」 「コミュニケーションの文化」	内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながらか趣旨を把握する方法を学ぶ。 文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を学ぶ。 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する方法を学ぶ。
2 学期	表現編 小論文を書く 理解編Ⅱ 生活と自然 「カブトムシから考える里山と物質循環」 生への思索 「経験の教えについて」 「僕らの時代のメディアリテラシー」	自分の考えを多面的、多角的な視点から見直し、根拠や論拠の吟味を重ねて、主張を明確にする方法を学ぶ。 社会的な話題について書かれた論説文を読み、その内容を基に自分の考えをまとめる方法を学ぶ。 論理的文章の構成の型を知り、「経験の教え」について自分に引きつけて考えを深める。 筆者の主張の要点を理解し、市場原理の主体とメディアとの関係について考えを深める。
3 学期	理解編Ⅱ 現代と社会 「支え合うことの意味」	抽象的な表現の意味を把握しながら、「支え合うことの意味」について考えを深める。